

大ナゴヤ大学を一緒に作り続けましょう！

学生

授業に参加する

街じゅうをキャンパスに、さまざまなテーマで授業を開催しています。
興味を持ったらずはホームページから学生登録を！誰でも学生になれます。

ボラスタ

授業やイベントを手伝う

会場設営や授業の受付、レポート、記録、学生さんとのコミュニケーションなど。
お手伝いをしていただけるボランティアスタッフを募集しています。仲間になりましょう！

授業 コーディネーター

授業をつくる

ナゴヤの「面白い！」を発掘し、「授業」としてコーディネート。
「ナゴヤって面白い街なんだ」と、思ってもらえるきっかけをつくる仕掛人です。

サポーター

寄付でサポートする

いただいた寄付金は、活動が続けていくため、事務局・講座の運営等に充てさせていただきます。
大ナゴヤ大学のコンセプトにご賛同いただき、ご支援をお願いいたします。

ゼミ・課・部

キャンパスライフを楽しむ

学生のみなさんの自発的なコミュニティであるゼミ・課・部活動への参加も募集しています。
キャンパスライフでの活動も楽しみましょう！

法人会員 ・ 授業協賛

コラボする

企業・団体・店舗・個人・行政などと、コラボ授業や商品開発等。
力を合わせてナゴヤを面白がるヒト、モノ、コト作りを一緒に作っていきたいと考えています。

大ナゴヤ大学

2014年度活動報告書

ANNUAL REPORT 2014

特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク
〒460-0011名古屋市中区大須3-42-30 ALA大須ビル201(事務局所在地)
TEL 070-5459-8213 E-mail dai-nagoya@univnet.jp

<http://dai-nagoya.univnet.jp/>



大ナゴヤ大学で ナゴヤを面白がる人を増やしたい。

いつもの私たちの街を「面白がる」という視点でじっくり見てみる。

見方を変えるだけで驚くほどたくさんの中ゴヤの魅力に出会い、

「私」と街(ヒトモノコト)との関係性が見えてきます。

名古屋という街を考える、というと漠然としていますが、

「私」の周りのヒトコトモノの繋がりが街になっている想像すると、自分にとって身近なものに感じる。

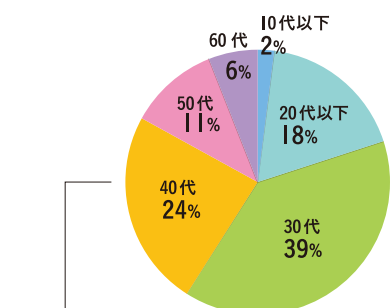
街での学びや、多様な人たちとのコミュニケーションを通して、

大切だと思える環境が広がり、「自分の街」という意識が芽生える。

自分の街のことだから、街のためにできることをしてみたいくなる。

小さな行動を起こせる「私」が増えたら、その繋がりから街は変化を見せていくでしょう。

大ナゴヤ大学は、中ゴヤを面白がる人を増やす人づくりを通じた街づくりを目指します。



誰でも生徒
学生登録数 3,600 人

街じゅうがキャンパス
教室 197 カ所

まちにいるあの人！
先生 292 人

「面白がる視点」で授業づくり
授業コーディネーター 43 人

垣根なく集まっています
ボランティアスタッフ 165 人

※データは2015年3月末現在のものです。

街の魅力をテーマに「授業」を開催

大ナゴヤ大学には校舎はありません。

「街じゅうがキャンパス」で「誰でも先生、誰でも生徒」をコンセプトに

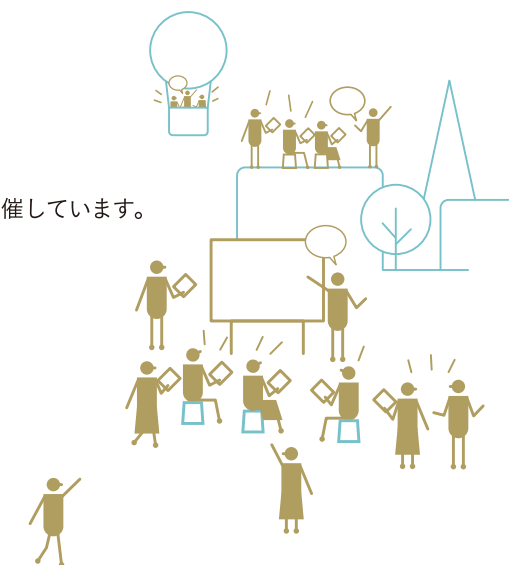
「授業」を企画し、名古屋市を中心とした愛知・三重・岐阜の活動圏で開催しています。

街なかにある色々な面白い「ヒト」「モノ」「コト」をテーマに、

楽しい学びを通して街に関心を持ってもらおうと共に

人と人との多様な関係性をきずくユニークな取り組みを行っています。

年間授業総数 35 コマ のべ
授業参加者数 464 人



「授業」は「きっかけ」づくり

大ナゴヤ大学の「授業」は、ただ知識を学ぶ場ではありません。

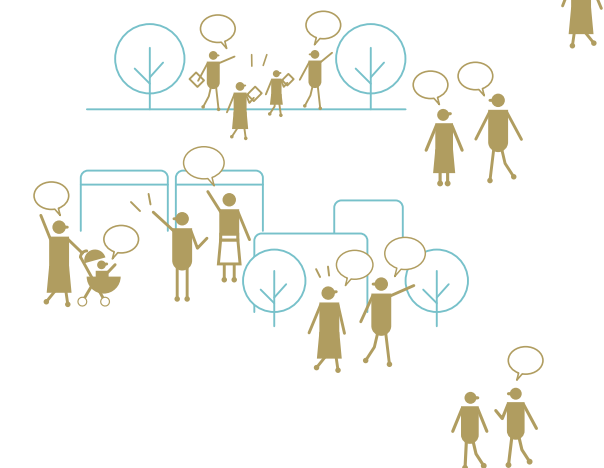
参加者同士で考えたり、話し合ったり、街や人と交流できる場所です。

多様な視点を持つ人たちとコミュニケーションを取り、

自分の意見を伝え、自分との違いを受け入れる。

授業での出会いが、新しいコミュニティーや活動へと

広がっていく「きっかけ」にもなっています。



「やってみたい」から始まる 大ナゴヤ大学とあなたの関係

大ナゴヤ大学に関わるスタイルは様々です。

もちろん授業への生徒参加がひとつ。

ほかにも、ゼミ、部活動などの「キャンパスライフ」を楽しむ、

ボランティアスタッフ(ボラスタ)として活動を手伝う、

活動を支援金でサポートするサポーターになる、

さらに、授業コーディネーターとして授業を企画する、など。

年齢や職業に関係なく、誰もがフラットな立場で集まり、

自主的な活動をしています。

「やってみたい」という気持ちがあれば、あなたらしく関わってもらえます。





はたらく

『活版印刷 × はたらく』
～半歩踏み出す力 好きを仕事にするには～

2014.9.26 Fri 19:00～21:00
@カフェ・パルル

好きなことを仕事にするってどういうことだろう？先生は、活版印刷を愛し、活版印刷を仕事とする堀内さん。会社を辞めてまで活版印刷の道へ進んだエピソードを聞いた後、生徒さんたちに活版印刷の体験してもらいました。先生の話を通して、みんなで一緒に自分の“はたらく”を振り返った授業でした。「はたらく課」が初めて企画した授業です。



食

猟師と鹿と里山と
～郡上八幡で鹿の解体からBBQまで～

2014.9.27 Sat 13:30～18:00
@NPO法人メタセコイアの森の仲間たち

岐阜県郡上市で里山保全活動に取り組む猪鹿庁さんとのコラボ授業。猟師さんのお話を聞き、鹿の解体に挑戦し、その鹿でBBQをする。猪鹿庁さんが一貫して行っている「とる・さばく・たべる」をみんなで体験しました。里山で暮らす人の「生命をいただく」を大事にする気持ちに触れながら、食べ物に感謝する気持ちを強く実感した授業でした。



ものづくり

日本の手しごと
「民藝陶器」の作り手を訪ねて

2014.10.12 Sun 10:00～13:30、13:00～16:30
@窯跡の杜、瀬戸本窯業

栄から電車で30分のやきものの里へ。瀬戸をまちあるきしながら、「民藝陶器」の文化と歴史に触れました。窯道具が美しく積み上がる窯垣の小径や、古瀬戸の窯跡が残る窯垣の杜を巡り、瀬戸本業窯の歴史を継ぐ先生たちのお話に耳を傾ける。800年にわたる焼物の歴史をとおり、瀬戸の魅力を味わいました。



歴史文化

やるまいぞ、やるまいぞ！
にっぽんの笑い、狂言

2014.10.21 Tue 18:45～20:45
@名古屋市短歌会館

狂言方清泉野村派当主、十四世野村又三郎先生の狂言を鑑賞し、“ちょっと”弟子入りしてしまう贅沢な内容。先生の狂言に笑いを上げ、狂言の歴史を学び、「うたい」「舞」「演技」を体験しました。狂言は日本で一番古いお芝居。人情味のある笑いの伝統に触れた授業です。11月のやっとかめ文化祭を前に、狂言の面白さを知る機会となりました。



スポーツ

あ～た～らしい朝がきた♪
ラジオ体操から始める楽しくて爽やかな1日

2014.11.8 Sat 8:00～9:30
@鶴舞公園

早朝から鶴舞公園の“ラジオ体操の像”の前に集まった生徒さんたち。前に立つのはラジオ体操歴60年以上の強者、植松先生。きちんとやれば、全身をしっかりと動かして健康にもすごくいい。そんなラジオ体操の正しいやり方を教わりました。体を動かした後は、みんなで美味しいモーニング。先生のお話を聞きながら、素敵な朝の一時を過ごしました。



科 学

空を見上げてみよう！
空気って何？雲って何なんだ！？

2014.11.22 Sat 13:00～15:45
@SHAREBASE

空を見上げればいつだって浮かんでいる。子どもの頃は不思議だったけど、大人になって気にかけることもなくなった。そう“雲”です。小さな頃の疑問を思い出して、雲や空気について学びました。理科教育のプロ、榎野先生が見せる実験の数々に生徒さんたちは終止興味津々。驚きと楽しみと納得がいっぱいの理科の授業でした。



街歩き

名古屋の魅惑のモザイク壁画 ～みんなで眺めてまち歩き！～

2014.12.6 Sat 13:00～15:30
@栄エリア

中日ビル内の天井、伏見駅の構内。ふと目を向けると名古屋のあちこちにあるモザイク壁画。石やガラスが織りなす美しい壁画を見ながら街を歩きました。モザイク彫刻家の碧先生に案内され、高度経済成長期から名古屋の街を彩る壁画を鑑賞し、それぞれの物語に耳を傾ける。モザイク壁画から街や人の歴史を紐解く、なかなかできないまち歩きでした。



くらし

田舎暮らしというライフスタイルの選択 ～新しい田舎暮らしについてみんなで考える1日～

2015.3.8 Sun 13:00～16:30
@7th cafe(ナディアパーク内)

近年、注目される“田舎暮らし”について知りたい。そんな方に向けて、田舎で活躍する人のお話や田舎暮らしの事例を聞き、交流できる場をつくりました。greenz.jp 編集長の兼松さん、福岡 R 不動産の坂田さん、三河山間エリアで暮らす方々、それぞれの視点から多様な田舎暮らしが語られました。



知多半島

伝統を更新するチャレンジ！ ～プロジェクト「TOKONAME」の仕事に学ぶ～

2015.3.28 Sat 13:15～15:30
@TOKONAME STORE

「常滑焼の伝統を更新する」というコンセプトのもと、常滑焼の新しい魅力を発信する、プロジェクト“TOKOMAME”。その呼びかけ人の鯉江先生から、TOKOMAMEの取り組みや挑戦にける想いをお話いただきました。先人の知恵をさらに発展させる「伝統の更新」について一緒に考えました。

キャンパスライフ紹介

食ゼミ



<http://dnu.jp/syokusemi/index.html>

f

大ナゴヤ大学通常講座「野菜を知る、触れる、アートする。マルシェ・ジャポンでカービング体験」に参加した生徒からの声により2010年3月に食ゼミが結成されました。
現在ゼミ生の登録はおよそ130名、ふぁーむ隊(農業)・キッチン隊(調理)・ケンガク隊(社会見学)に分かれ、各自興味のある分野で活動しています。今年度はホームページを一新し、ロゴを制作しました！大ナゴヤキッチンでは生徒から先生への挑戦、お店でプロに習うなど新たな活動ができました。酒蔵巡りや農家訪問も継続して企画。実際の現場に触れ、来期では自宅でも栽培・収穫を目標に活動しています。ゼミも6年目を迎え、メンバーが楽しむことを第一に様々な取り組みをしています。



はたらく課



<http://dnu.jp/hatarakuka/>

tw f

合い言葉は、「そんな“はたらく”との出会い」。はたらく課は、身近な人の“はたらく”を知り、自分の“はたらく”を見つけるきっかけづくりをしています。出会いから、新たな気づきや活動につながるが私たちの思いです。
2014年度は、大ナゴヤ大学の授業を3つ開催、ナゴヤで活躍する3人の方にインタビューしました。また、新しいメンバーも加わりました。授業では、活版印刷、田舎暮らし、ソーシャルビジネスをテーマにした企画を実施し、“はたらく”について見つめ直す場をつくりました。インタビューは、デザイナー、ライターなど、幅広い職種の方の記事をホームページ上に掲載し、様々な“はたらく”の情報発信ができました。新たに「私のはたらく掲示板」がスタートし、イベントや授業に参加した方の“はたらく”をホームページ上で紹介しています。
今後は、新たなプロジェクトにもチャレンジし、より多くの“はたらく”との出会いを提供できるようにしていきたいです。

●活動日 定例ミーティング：毎月第1水曜日



地球の生物部



f

私たち「地球の生物部」は、街の一角にある植栽スペースを名古屋市からお借りし、毎月1回、朝8時から1時間ほどで花を植えたり、雑草を抜いたり、水やりをしたりと植物のお世話をしています。
また、お仕事前に参加する部員さんが多いので、名刺交換ではなく、土いじりを通した朝からのコミュニケーションを楽しんでいます。
自分達の手で植物のお世話をすることで自然を身近に感じ、名古屋の街にも関心を持ってもらうきっかけを作っています。
まだまだ少人数での活動ですが、生物部の活動が広がっていった際は、お借りしている植栽スペースを増やし、街に鮮やかな植物も増やしていきたいです。
●活動日 生物庭手入れ：毎月第1木曜日 8:00～9:00 頃(参加自由)
生物庭の場所：地下鉄矢場町駅4番出口を南へ。若宮大通久屋 交差点付近





左から、伊熊志保さん（授業コーディネーター）・藤田まやさん（先生）・吉塚定生さん（ボランティアスタッフ）

先生 × 授業コーディネーター × ボラスタ 今、授業を振り返って

円頓寺七夕まつりの名物 「張りぼて」をつくろう！ ～大人から子供まで工作好き集まれ～

2014年7月26日、円頓寺商店街を教室に、夏の七夕まつりの名物「張りぼて」をつくる授業が開かれました。先生は、円頓寺生まれの円頓寺育ち、物心ついた時から張りぼて作りを手伝っていたという藤田まやさん。先生にコツを教わり、「風鈴張りぼて」を作りました。この授業を通して、どんな面白さや気付きが生まれたか。授業コーディネーターの伊熊さん、カメラ担当ボランティアスタッフの吉塚さんが、先生と一緒に授業を思い返します。



先生から学び、竹組みから紙はり、装飾まで。地面に座り込んで作業に熱中。

張りぼて作りにみんな夢中に

伊熊 あの日とはとにかく暑い日でしたね。
藤田 そうですね、本当に暑い日でした。暑いのと時間が長いので、生徒さんたちの集中力が心配でしたが、皆さん本当に一所懸命作ってくださいました。お昼休みも汗だくで作り続けていて、ダウンしないか心配になるくらいでしたよ。
吉塚 写真を撮っていても、生徒さんたちは本当に楽しそうでした。みんな、竹が上手く削れなかったり、割れなかったり、同じようなところでつまづいていたけど、先生にコツを教わると上手にできるようになっていて。熟練の技のすごさを実感しましたね。
藤田 完成品だけ見ていると分からない、細かい技がいっぱいあるんです。どのくらいの細かさで竹を組むとか、紙を貼った時キレイにラインを見せるにはどうしたらいいとか。そういうこだわりを知ると、七夕まつりに来ても、ただ眺めるより面白さが分かると思います。私自身も、人に教えることで身につけてきたものを振り返るいい機会になりました。できあがった風鈴も皆さん個性的でしたね。



“風鈴”型のはりぼてに、思い思いのデザインを施して。

伊熊 自分だけの風鈴を作り上げて、皆さんとても満足そうでした！すごく熱中していた分、やりきった感も大きかったんだと思います。
藤田 「何を作ろうか」と何度も相談して、ひとりひとつ作るのは伊熊さんが提案してくれたんでしたね。本来はもっと時間をかけて作るものなので、かなりハードかなと思いましたが、皆さん完成できて私も達成感でいっぱいでした。

文化祭のような商店街の空気に溶け込んで

伊熊 私は、この授業を企画するまで、アーケードに吊るされている張りぼて用のヒモを「何につかうんだろう？」と思うくらい、七夕まつりのことをほとんど知りませんでした。あれだけ大きな張りぼてを商店街の人たちが店舗ごとに作っているなんて想像もしませんでした。でも、授業中もお隣でお店の方がせっせと張りぼて作っているんですよ。なんだか文化祭の準備をしているみたいで、円頓寺ならではの雰囲気味わえた気がします。
吉塚 僕は七夕シーズンに商店街を通ったことが何度もあって、正直「大変そうだな…」という目で見ていました。だけど、授業を受けてみて、作るのはもちろん楽しいし、隣の人が作ったものを見るのも単純に楽しいんだろうなって感じました。
藤田 私は円頓寺で生まれ育ったのでこの風景が当たり前のものですが、七夕まつりを見るだけだと、製作過程や商店街の様子はわかりませんよね。作り方もそうですが、円頓寺の人たちがどんな風に乗っているのか、その空気を体験してもらえて良かったです。
伊熊 授業コーディネーターとして、目標のひとつは、授業をきっかけに七夕まつりに足を運んでもらうことでした。「自分の張りぼてを見に行こう」。そんな人がひとりでも増えたらいいなと考えていました。
吉塚 僕は授業をきっかけに七夕まつりに行って、生徒さんが作った風鈴を探してみましたよ。授業とセットでまつりを楽しめました。
伊熊 やった！ひとつ成功ですね！
藤田 そうですね！近年は、商店街内だけでなく、一般参加の方の募集も始めました。といっても、急に参加するのはなかなか難しいと思います。この授業が「もっと作ってみたい」「やってみたい」と思えるきっかけになってくれたら嬉しいです。



七夕まつり期間中にははりぼてと一緒に飾られ、地域の伝統的な祭りに参加できました。

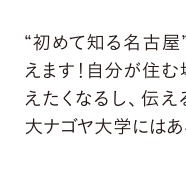
大ナゴヤ大学のパートナー 「ボラスタ」さんに聞いてみました

Q. 大ナゴヤ大学に参加してよかったことは？

国際関係、田舎暮らし、歴史、スポーツなど、たくさんのテーマに触れて興味の幅が広がります。企画者、スタッフなど関わり方を選べるのも嬉しい！



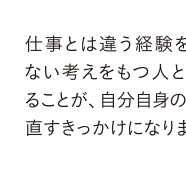
転勤でやってきた名古屋で、プライベートを共有できる友人や頼れる仲間ができました。僕にとっては、兄弟や父母のような人がいる場所です。



“初めて知る名古屋”とたくさん出会えます！自分が住む場所の魅力を伝えたいし、伝えるための手段が大ナゴヤ大学にはあるんです。



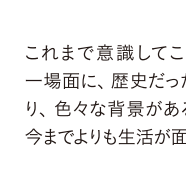
大ナゴヤ大学に関わってから「いい笑顔している」と思える写真が増えました。多様な価値観に触れて、毎日が面白くなりました！



仕事とは違う経験をしたり、自分がない考えをもつ人と出会ったりすることが、自分自身の働き方を見つめ直すきっかけになりました。



大ナゴヤ大学は“潤滑油のような接着剤”。人と人の間にじわっと染み込んで上手いことつながってくれます。



これまで意識してこなかったまちの一場面に、歴史だったり、人生だったり、色々な背景があると気付いたら、今までよりも生活が面白くなりました。



知多半島キャンパスで活動して知多半島に恋しちゃいました！たくさんの人に、知多のあんなトコ、こんな人に会いにきてほしいです。

ナゴヤを面白がる人と 大ナゴヤ大学をつくり続けたい。

大ナゴヤ大学は、ナゴヤをもっと楽しみたい人が集まる場所です。
活動を共にする仲間は、ただの友達でも職場の同僚でもありません。
けれど、時に予想を超える深い絆ができることもあります。
「ナゴヤをこんなまちにしたい」。そんな意見を交わし、考え、行動を起こす。
自分たちのほしい公共の場を、行政だけに頼るのではなく自らつくる。
そんな想いを共有するフラットな関係性の人たちを支えるという意味において、
大ナゴヤ大学は公共に資する場所であり、活動だと考えています。

この活動が市民全員に必要なと言われればそうではないかもしれませんが。
しかし、大ナゴヤ大学の活動が今のまちには必要だと思ってくださる人、
顔の見える関係性の中で支えていただけると有難いと思っています。
大ナゴヤ大学の活動が、自律的、継続的に続いていくため、
皆さんのサポーターとしての支援もどうぞよろしくお願いします。

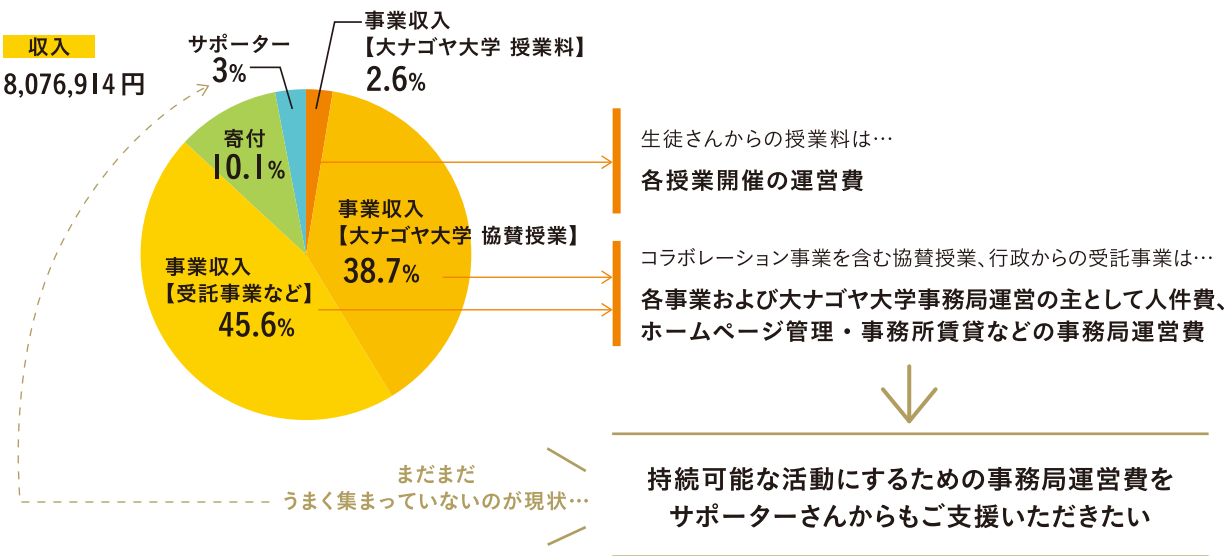


大ナゴヤ大学 学長 加藤幹泰



一緒に作りましょう
よろしくお願いします

2014年度財務データ



大ナゴヤ大学 サポーター募集



皆さんの日常として大ナゴヤ大学はありたいという思いから、
コーヒー1杯、ランチ1食くらい、という身近な金額によって継続的なサポートで応援していただけるよう、
個人サポーター費を月額制に変更しました！

新しくなりました！

3種類があります

●月額サポーター
継続的にご支援いただけるサポーター制度です。

●ワンタイムサポーター
ご自身のご希望の金額で、都度ご支援いただけるサポーター制度です。

●法人会員
法人様は年間でのご支援をお願いします。
大ナゴヤ大学ホームページで御社の情報を紹介させていただきます。

300円 /月

500円 /月

1,000円 /月

詳しくはホームページへ
「寄付する」をご覧ください。
<http://dai-nagoya.univnet.jp/>



今後、大ナゴヤ大学でも授業数を増やし、事務局運営費に充てられる費用も増やしていきます。
ご支援のご協力よろしくお願いします。

メディア掲載

2014年5月13日	中日新聞	ゲーム開発“一挙両得”
2014年5月20日	サカエ経済新聞	栄のアプリ開発会社、大ナゴヤ大学とのコラボゲーム制作
2014年6月16日	街かど人物館	街かど人物館に掲載
2014年7月20日	名駅経済新聞	「円頓寺七タまつり」開催に向け、名物「張りぼて」手作り企画
2015年2月20日	サカエ経済新聞	栄で若者向けの防災授業、アプリを使った避難訓練を開催
2015年2月27日	LIVERARY	田舎暮らしって実際どうですか？みんなで考える「田舎暮らしというライフスタイルの選択」開催
2015年3月9日	毎日新聞	三河「田舎」移住 希望者80人参加



2014年5月13日 中日新聞



2014年6月16日 街かど人物館



2015年3月9日 毎日新聞